

秋田県の元気な地域の活動情報満載!!

元気ムラ通信 25号

「元気ムラ通信」は秋田県が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」(通称: 元気ムラ応援サイト)で紹介している地域活動を、より多くの皆様に紹介するために発行しております。

●発行日: 令和2(2020)年10月1日

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

- Twitter アカウント
→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!



7月18日、秋田市で開催した基礎研修。元気ムラの地域住民や地域おこし協力隊、学生の皆さんが参加。



9月12日、五城目町森山地域の実践研修「さと歩きワークショップ」。実際に歩き、地域の魅力や課題を探しました。



9月22日、五城目町浅見内地域で「浅見内活性化委員会」の取組について学ぶ参加者の皆さん。



9月12日の「さと歩き」で発見した資源を整理し、地域で活かそうアイデアをまとめて発表しました。

「集落活動担い手育成研修」を開催しました。

新しい気づきを地域に還元しよう

7月～9月にかけて、「集落活動担い手育成研修」(基礎研修・実践研修)を開催しました。

人口減少が進む中、地域活動の維持・継続を図る手法や、先進的な取組を学び、地域を支える「担い手」としてレベルアップを図るため開催したものです。

7月の基礎研修では「NPO法人都岐沙羅(つきさら)パートナーズセンター」(新潟県村上市)の齋藤主税氏が、地域の現状や課

題を「ワガゴト化」する必要性などを講演。

9月は実践研修を五城目町の2地域で開催。森山地域では「さと歩きワークショップ」、浅見内地域では「浅見内活性化委員会」の取組を学び、さらに、「筆甫(ひっぽ)地区振興連絡協議会」(宮城県丸森町)の「小規模多機能自治」の取組



をオンラインで学びました。

人口が減少する中での地域活動は、新しい視点も必要になってきます。様々な人と接して、新しい気づきを発見し、地域に還元していきたいですね。

参加者の声

研修後、参加者からは、「まずはやってみる精神で、実際の集落活動に生かしたい」「他人の視点からの気づきが多かった」という声も。今後に期待ですね♪

コミュニティ生活圏形成事業の進捗

地域づくり推進課では、人口減少や少子高齢化が進行する中で、複数の集落からなる新たな生活圏「コミュニティ生活圏」の形成を図る取組を推進しています。

活動
2年目!

令和元年度 モデル地区の活動状況

令和元年度に取組を開始した地区は、行動計画（グランドデザイン）策定に向けて、座談会などを重ねながら話し合いを進めています。

●山田地区（大館市）



若手の意見を聞き取るために、「山田カフェ」を開催！若者が集まる場や子どもが安心して遊べる場所が欲しいといった意見が出されました！

●男鹿中地区（男鹿市）



男鹿中地区振興会や行政、中間支援者で意見交換を行い、農業や子育てサポートについての検討を重ねながら具体的な活動につなげていく予定です。

●馬場目地区（五城目町）



自治会長さんを中心に「馬場目ミーティング」を行い、4部会（カフェ、GBビジネス、交通、営農）で活動することに！部会ごとに活動内容を検討中です。

●仙道地区（羽後町）



コロナ禍において様々な事業が中止となるなか、地域コミュニティを維持していくため、必要な事業をどうすれば実現できるか検討しています。

●山内地区（横手市）



地域住民が主体となって運営する「地区交流センター」の実現に向けて、様々な立場の方が参加し、話し合いを進めています。

? コミュニティ生活圏とは ?

地域住民が一体感を感じ、歴史・文化的なまとまりや住民の合意形成を図りやすい複数の集落からなるエリア（旧小学校区・公民館区等）のこと。秋田県の政策用語。

活動
1年目!

令和2年度 モデル地区の活動状況

①現地調査・ヒアリング

●平元地区（鹿角市）



7月15日から28日にかけて、今年度のモデル地区（6地区）の現状や課題について、地区ごとに住民の方から聞き取り調査を行いました。

↑7月28日の現地調査

地区ごとに
開催中

②ワークショップ（1回目）

●梅内地区（能代市）



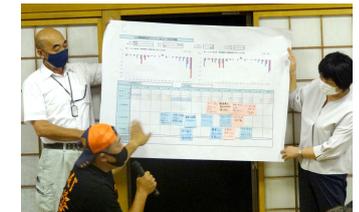
●鹿渡地区（三種町）



●石沢地区（由利本荘市）



●上浜地区（にかほ市）



●院内地区（湯沢市）



9月から開催している1回目のWS（ワークショップ）では、地域の人口増減の要因を探り、将来に向けた定住目標を立てます。これを受けて、2回目のWSで地域の強みを活かし、弱みを補う「作戦会議」を行う予定です。

※平元地区（鹿角市）の1回目のWSは10月9日（金）開催予定です。

③今後の動き

- ワークショップ（2回目）…11月～12月（予定）
- 各市町村報告会…令和2年12月～令和3年1月（予定）
- 全県報告会…令和3年2月下旬（予定）

地域づくり推進課の活動報告

各地で「集落間交流」が行われました！



●小砂川地域→三ツ方森地域

8月2日、元気ムラのGBビジネス活動の一環で、わらびの根っこから抽出してとれる「わらび粉」精製に取り組む三ツ方森地域（由利本荘市）を、小砂川地域（にかほ市）の皆さんが訪問し、活動を視察しました。



●梅内地域→金沢地域

地域活性化計画策定のためにワークショップを開催した経験のある金沢地域（横手市）の取組や手法を学ぶため、7月22日、梅内地域（能代市）の皆さんが金沢孔城館を訪問し、情報交換を行いました。

露地ミョウガの出荷に初チャレンジ！



南外地域（大仙市）



馬場目地域（五城目町）

8月は露地ミョウガの季節。首都圏で需要が高く、GBビジネス（※）の夏の主力商品です。今年は南外地域（大仙市）と馬場目地域（五城目町）が初めて露地ミョウガを首都圏に出荷しました。

両地域とも、出荷経験のある元気ムラ地域の方を講師に招き、商品の規格やバック詰め等の作業を学んでからの出荷作業。

「自分だけが採っても量が足りなくて出荷できないからね。みんなが顔を合わせてやるのが大事だね」と話していました。今後も楽しく活動できるといいですね。

※GB（じっちゃん・ぼっちゃん）ビジネスは、地域資源を収入に変え、「集落」の生きがいがづくりにつなげる取組です。

現地トピックス

元気ムラに若者の応援！

秋田県立大学「GBビジネスサークル」の皆さんが、元気ムラの地域活動の応援にきてくれました！8月は金井神・上坂部地域（横手市）と三ツ方森地域（由利本荘市）、9月は荒又地域（大仙市）で作業を行いました。

人手不足の作業を一緒に行い、商品の提案など、大学で学んだことを活かせるようにと立ち上げたサークルです。今後の活動が楽しみです♪



金井神・上坂部地域（横手市）

「若い子が『作業を手伝わせてください』と地域に来てくれるのがすごい」と住民の方も嬉しそうでした♪

笹の葉の出荷作業

←和菓子を包む笹の葉の収穫・選別作業を一緒に行いました。

いろいろな集落に行って住民の方と一緒に活動したい！



三ツ方森地域（由利本荘市）

地域から
元気を
発信!!

地域からの メッセージ No.24

人口減少により地元スーパーが撤退し、移動手段のない高齢者が買い物に不自由していた大仙市南外の外小友地区。昨年、住民で運営するお互いさまスーパー「南外さいかい市」がオープンしました。今回は南外地域の活動をご紹介します！



大仙市の温泉施設「南外ふるさと館」の駐車場の一角に「南外さいかい市」があります。

高齢者の買い物支援を目的に開設したお店の名前は「皆が再会できる場に」と名付けられました。

店の中央に新鮮野菜や果物が並び、周りに日用品、卵、豆腐、お肉なども。市の交通助成券も扱い、この場に来ればいろいろな生活情報を得ることができます。

店舗を運営する「NPO法人南外さいかい市」の佐々木繁雄さんは「住民はもちろん、温泉に来て立ち寄る人もいます。地元

みんなが“再会”できる 「南外さいかい市」



南外の90代のおばあちゃんが作ったミニぞうりも販売しています



お客様との
会話が楽しい♪

の人も、自分の野菜や採ってきた山菜を売る場所があればお小遣いになる。『おれの（野菜）も店に出して』と言ってくる人もいます」と話します。

電動カートで毎週、買い物にくるおばあちゃんの姿を見ると「役に立っている」と実感する

そうです。

今後は移動販売や住民の見守り活動を計画しています。「いろいろな人が集まって、ゆっくりできる場所にしたい。人が集まる場所は楽しい場所♪これからの南外地域が楽しみです（^^）」



まず座れよ
まだあるよ

【アクセス】

- 住所：大仙市南外字松木田38-5
※温泉施設「南外ふるさと館」の駐車場敷地内にあります。
- 営業時間：10:00～18:00
- 定休日：火、水曜日

元気ムラの味

巻物 まきもの

お祝い場で作られてきた「巻物」のお料理。昔の人々の知恵と技術が詰まった食のお宝♪ おばあちゃんのレシピを記録に残す地域もあります。ふるさとの味を受け継いでいきたいですね。



山館地域（大館市）

棒状の2本の練りゴマを、ひねり合わせて巻物をまくように作るお菓子。



上岩川地域（三種町）

砂糖で味付けした餅を「巻きす」を使い、かまぼこ状に整えたお菓子。



余目地域（大仙市）

海苔巻きを切った時に綺麗な模様になるよう、具材を工夫します。

編集後記

五城目町森山地域は、かつて「スズムシ群棲地」として知られ、その復活に向け、住民有志で、スズムシの繁殖活動に力を入れています。9月に公民館にお邪魔した際、スズムシの鳴き声が出迎えてくれ、夏の暑さの疲れを癒やしてくれました。紙面ではお伝えできない「音」の魅力でした（^^）

元気ムラ通信のご感想・ご意見も
お待ちしております！

【発行】秋田県 あきた未来創造部 地域づくり推進課（元気ムラ支援班）

●住所／〒010-8570 秋田県秋田市山王4丁目1-1 ●電話／018-860-1215 ●FAX／018-860-3875 ●E-mail chiiki@pref.akita.lg.jp